

＊小竹八幡神社の獅子頭 （担当：藤森寛志）

獅子頭と胴幕が一体となっている。御坊祭の他組と同様の持ち手となる中央に紐を通す穴を有した支柱が取り付けられている。また、下顎内部にも把手が取り付けられ、わずかながら麻紐が残る。左耳は欠いている。獅子頭の支柱と



把手、舌は、獅子頭の他の部分に比べ、材が新しく後に取り付けられたものと考えられる。

材質 木製

法量

奥行	三六・〇	cm
幅	三二・〇	cm
高さ	二九・五	cm

